

# 2017/05/07 アイアンマン 70.3 ベトナム 参戦記

宿院 雅広

3月の台湾ではエイジ2位のためスロットを獲得できず、急遽ベトナムはダナンの大会で挑戦することにしました。

果たしてリベンジできたのか？ではレポートです。

ベトナムでは台湾でのパンクに続いてまたもやトラブル発生！ネタ作りますわー(笑)



スイムは、透明度抜群の砂浜を1周回。終始底が見えるくらいのきれいに感激！ウェット着用不可のため胸の圧迫感がなく快適ですが、慣れないトライウェアでのスイムにタイムはめっちゃおそっ！台湾より4分も遅くスイムアップ。こりゃあかんと少々焦る…。

さあバイクにまたがり、前に行くであろう同エイジを追いかけます。5番手あたりか？

そこそこのスピードで飛ばしますが、暑いなのって頭からボトルの水をかぶります。

そのためかバイクの途中で目の前がモヤがかかった状態になり、すりガラスを通して物を見ているような感じになりました。

きっとサングラスが曇っているんだろうと思ってサングラスを外すと、なんと全く同じ！

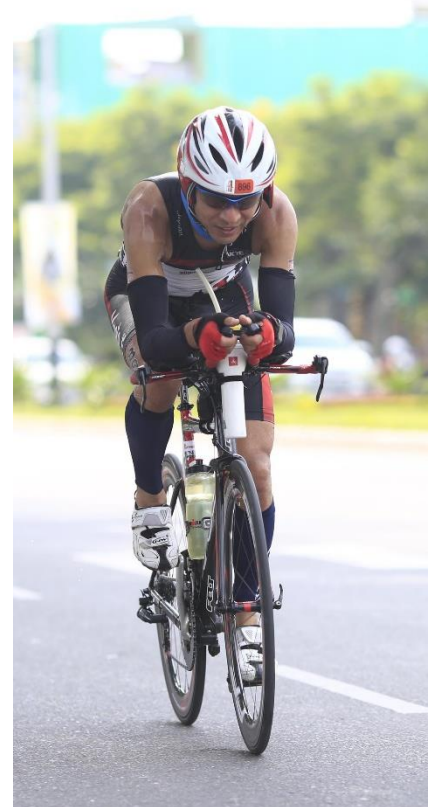
なんだこれは！とびっくり仰天！

暑さで脳がやられ目の神経回路でもおかしくなったのかとかなり焦りました。

レースが終わってから、とちんに指摘されバイクの途中で急にゴミのような物が目に飛び込んできたことを思い出し、結局それが原因だったことがわかりましたが、レース中はそんなことも忘れていたものですからホント焦りました。

肝心のバイクパートですが、そんなことも原因の一つだったのか今一つ調子に乗れなくバイクアップ。

おそらく同エイジ2、3人には抜かれているだろうと判断するも、諦めずに前を目指します。



ランに移ってからは、濃い霧の中を走っているようになり、数メートル先も自分の時計も霞んでほとんど見えなくなり、アワワな状態になりました。

どれくらいのスピードで走っているのかは感覚だけが頼りになりました。

あー、スロットはまず無理だ！と思いながらも、暑さの割にランの足取りはそんなに悪くありません。

Anything is Possible !

台湾でスロットをゲットしたトシが教えてくれたアイアンマンの言葉を思い出し、とにかく感覚でキロ5分を刻みます。

約20カ所のエイドは全て各駅停車して頭から水をかぶる、息を吹き返す、の繰り返しです。目が見えなくても何とか頑張れるものです。

そして最後はいつも通りダッシュで駆け込みフィニッシュ！全て出し切りました。

順位は？

ラインでKTCの仲間が速報を知らせてくれているようですがスマホの文字が読めない。身の回りももやがかかっている感じで人の顔もまともに判別できない。やっぱー、これ。頭いってしもたか？

そんなときハジメからライン電話があり、エイジ優勝を知る。えー、マジか！！諦めないで死ぬ気で走ってよかったと心底思いました。涙は…。それを聞いて涙を流すまでもなく、すでに目が痛くて涙ボロボロの状態ではありました(笑)

一緒に来た医者のもちんを見つけ、アドバイスをもらい、急いで救護で洗浄してもらうがなかなかよくなりません。ところがレースが終わって3時間ほどしてから少しずつ見え始め一安心するも、今度は涙と鼻水がダラダラで目がちゃんと開かない。

そんな状態での表彰式。優勝してあまりの嬉しさに泣いているように見えるやろなあと思うと、あー恥ずかしっ(^\_^);

しかし、マジでこのまま目が見えなくなるのかとレース中チョー焦りました。走りながら、仕事辞めてえ、手に職つけてえ、それでえ…なんて今後の人生設計まで考えていました(笑)

さてさて、今回のリザルトを見るとバイク終了時点で6位だったことが判明。そこから5人抜いての逆転優勝でした。諦めずに最後まで希望を捨てずに頑張れば、天は見方をしてくれることもあるんですね。

再びAnything is Possibleの言葉を！

台湾の神様が与えてくれた試練は、ここベトナムで実を結びました。

去年のオーストラリアに続き9月world championshipの舞台アメリカに飛びます。

ベトナムは素朴でとっても素敵な国です。またいつの日か来ます。

ベトナムのみなさん、そして応援して下さったみなさん、ありがとうございました！

